

## 向島散歩

首藤 静夫

大学に入学早々、高校時代の先輩に誘われてボート部に入った。その新人歓迎コンパで聞いたのが次の応援歌だ。

♪春は春は さくら咲く向島 ヤッコラセー オールもつ手に花が散る 花が散る  
アウー アウー（一番のみ）♪

ここに登場する向島は隅田川（以後、川）に面し、昔はここに各校が艇庫を並べ、この川で練習し、競漕した。その後埼玉県戸田市に移ったが、応援歌はそのままに歌い継がれてきた（各校共通の歌である）。

向島へ一度はと思いつつも縁がなかった。今度「何でも読もう会」の下見をかねて初めてこの地を歩いた。

墨田公園に隣接の牛嶋神社にお参りの後、川に沿う見番通りを上流に向かって歩く。ゆかしい名称の通りだと思っていたら、本当の見番が見え、芸者さんたちの稽古する声と小太鼓の音が聞こえた。周囲には立派な料亭も散見される。ボート部の大先輩たちは、大学対抗レースの後には連れだつて夜のお遊びにくりだしたとか。ウラヤマシイ時代であった。

道沿いに「向島七福神」が次々に現れる。それが切れるころ、目的地の一つ「言問団子」が現れた。店の前にある沿革を見る。言問橋や言問通りがあるから、それにあやかつた命名かと思っていたが、言問の名はこの店が元祖だそうな。

江戸末期に付近の植木屋さんが始めた団子屋が大当り。明治初年に時のエライ先生の指導で業平ゆかりの和歌から取つて言問と名づけたらまたまた大人気となったようだ。この日は定休日で味わえなかったが下見ゆえ本番にとっておこう。

帰路は土手の上を歩くことにした。団子屋の裏から階段を十段ほどあがり、川に出た驚いた。川の堤防の手すりに十羽、十五羽……。「名にし負う都鳥」ではないか。数羽は川面をゆうゆうと飛翔している。平安の昔からずっとここをねぐらにと勝手に解釈、やはり都鳥なんだと感動した。

さあ、元の墨田公園に戻ろう。その一角には当クラブのＴ先輩（故人）が尽力された「墨田川ボート記念碑」があるはずだ。